

菩提行

赤間 義徳

巖きびしい寒気をついて

僧の列が尾根道を歩いていく

網代笠あじろがさをかぶり 鈴かね 錫杖しやくじょうをうち鳴らし

経文を一心に唱えながら

僧の列が此岸しがんと彼岸ひがんの境を歩いていく

凍りついた風景の中

僧の魂だけが燃やして

遙かな求道の旅の足元を照らしていく

純白の魂の列がりんりんと響いていく

ひたすらに ひたむきに歩いていく

菩提樹ぼだいじゆげ下に坐まして瞑想めいそうする

佛陀のみ心を目ざして



菩提行（三喜庵筆）善光寺客殿